

「土研 新技術セミナー in 札幌」を開催

寒地技術推進室

土研新技術セミナーは、土木研究所の研究内容や研究開発した新技術等について社会ニーズを踏まえたテーマ（分野）を設定し、そのテーマの最新の動向と併せて必要な技術情報を提供するもので、東京は毎年、札幌では隔年で開催しています。今回は札幌で開催した「土研新技術セミナー in 札幌」について報告します。

1. 概要

近年の積雪寒冷地における大雪や猛吹雪への対策を念頭に『極端気象へ挑むインフラ分野の取組』のテーマにて、2022年12月1日に「土研新技術セミナー in 札幌」（会場：共済ホール/札幌市中央区）を開催しました。当日は今冬期の札幌にて本格的な降雪となる気象条件の中、国や地方公共団体、コンサルタント、建設業に携わる技術者など198名にご来場いただきました。

2. 特別講演および技術講演

特別講演では「2022年2月の大雪により起きた札幌都市圏の大規模交通渋滞について」と題し、北海道大学大学院工学研究院 教授 萩原 亨 氏にご講演をいただきました。札幌圏の2021/22年の冬期における降雪の特徴や道路ネットワーク性能を示す集計的な指標を用いた大雪と渋滞の関係について大変興味深いお話をいただき、ご講演の最後には「大雪を災害と定義する」ことを実現してもらいたいというご発言がありました（写真-1）。

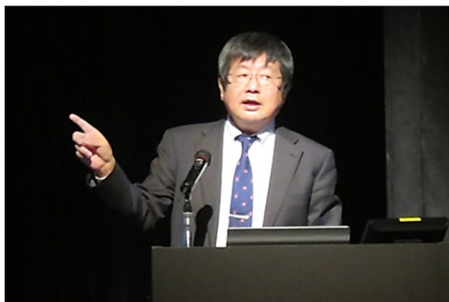


写真-1 特別講演の様子（教授 萩原 亨 氏）

また、技術講演では土木研究所が開発した冬期の道路や河川の管理および情報提供等に関する5技術の特徴や適用の効果などについて、各チームの研究担当者より紹介しました（表-1）。

表-1 技術講演での紹介技術

AIS3（凍結防止剤散布支援システム） 寒地交通チーム 主任研究員 大廣 智則
AI 画像認識を用いた路面雪氷推定システム 寒地交通チーム 研究員 齊田 光
除排雪計画支援のための堆雪断面積推計技術 寒地機械技術チーム 研究員 飯田 美喜
吹雪時の視程推定技術と情報提供 雪氷チーム 主任研究員 國分 徹哉
結氷河川の合理的な危険箇所及び流量の推定法 寒地河川チーム 研究員 平田 智道 (代演 総括主任研究員 野上 毅)

3. Web配信（収録版）の開催

開催時に収録した講演の後日配信として、2023年1月23日から2月3日にかけて「土研新技術セミナー in 札幌【Web配信（収録版）】」を開催しました。

九州や中国、四国地方を含む全国各地より積雪寒冷地の技術にご興味を示していただいた524名にご視聴いただきました。

4. おわりに

「土研新技術セミナー in 札幌」の開催にあたり、多くの方にご協力いただきました。この誌上をもちまして感謝申し上げます。なお、今後も寒地土木研究所では、各種のイベント¹⁾を予定しております。

1)寒地土木研究所イベント情報

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>



（文責：高田 哲哉）